

| | | | |
|-----|----------------|-------|---------------|
| 学校名 | 東京学芸大学附属小金井中学校 | 実施年月日 | 平成17年2月24日(木) |
| 指導者 | 平田博嗣 | 授業コード | M-4 |

| | | | |
|---------|---|-----|-----|
| 学 年 | 1年 | 教 科 | 社会科 |
| 単元の目標 | 「国と国の結びつきを調べてみよう。」 世界は一国で自給自足の生活をしていく時代ではなくなった。特に日本のように外国との輸出・輸入で成り立っている国においては、とりわけ外国との関係が重要である。ここでは国と国の結びつきを労働力の移動、経済協力の視点から調べてみる。 | | |
| 単元の指導計画 | 国と国の結びつきを調べてみよう。 1. 労働力の結びつき 2. 経済協力の結びつき・・・(本時) | | |
| 本時のねらい | ODAやWFPの活動が、単なる資金援助ではなく、その国や地域の自立を支援するためのものであることを、理解させる。そのためには、無償支援だけでなく、有償による支援を行い、途上国の人々が自覚をもって、自分たちの国を豊かにする道筋を作っていくことの意義を考えさせる。そして食糧支援から、最終的には教育支援の重要性を自覚させたい。これは実は自分たちの受けている教育について再評価させることにもつながる。 | | |

本時の学習活動の展開

| | |
|-----|---|
| 導 入 | (1)モスクの目覚まし時計の音を聞かせ、イスラム世界の雰囲気を感じる。 (2)昨年8月に行ったODAの訪問について、報告・説明を受ける。 |
| 展 開 | (3)WFP(国連世界食糧計画)のホームページから、活動の概要を知る。 (4)「なぜ食糧を無償で分けないのか?」について自分の意見を述べ、他の意見を聞く。 (5)「発展途上国にとって必要なことが、自立だとしたら、自立のために大切なことは何か?」について話し合う。 |
| まとめ | (6)授業の感想などを書く。 |

| | |
|---------------------|---|
| デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨 | WFP(国連世界食糧計画)のホームページを、資料として使用した。リアルタイムで世界とつながっていることを自覚させたいからである。しかし、もし何かのトラブルも考えられるので、実は前日にハードディスクにダウンロードしておいた。 このあと、生徒たちが、学校で家庭で、興味や関心をもって、こうした活動に対して支援できるような態度を形成させたい。そのための準備として、機器の整備をしていきたい。 |
|---------------------|---|